

令和 5 年度

業 務 年 報

広島県立総合技術研究所
西部工業技術センター

目 次

1	事業概要	1
2	事業実施体制	3
	(1) 組 織	
	(2) 土地・建物の現況	
	(3) 職 員	
	(4) 予算執行状況	
3	研究開発事業	7
	(1) 研究開発	
4	技術支援事業	10
	(1) 技術相談・指導	
	(2) 依頼試験	
	(3) 設備利用	
	(4) 技術的課題解決支援事業（ギカジ）	
5	技術移転事業	22
	(1) 保有技術紹介セミナー	
	(2) 研究成果の公表	
	(3) 工業所有権	
	(4) 広報活動	
6	人材育成事業	29
	(1) 技術者研修	
	(2) 企業等研究員受入制度	
7	産学官交流事業	31
	(1) 研究会活動	
	(2) 他機関との連携・支援	
8	その他	35
	(1) 職員研修	
	(2) 受 賞 等	
付	録	37
	(1) 令和5年度の主な行事等	
	(2) 沿 革	
	(3) 令和6年度の職員	
	(4) 広島県立総合技術研究所の組織	

1 事業概要

西部工業技術センターをはじめ、県内 8 センターが所属する広島県立総合技術研究所は、保健環境から工業、農林水産業まで非常に幅広い領域の技術を保有しています。その特徴を活かして、異分野や業際領域の産業が参集・協力し、県民や県内産業が新しい分野・領域にアプローチできる貢献度の高いスリムで効率的な試験研究機関を目指しています。

西部工業技術センターは、工業系の試験研究機関として、県内企業のニーズに応える研究開発と、その成果の移転促進、また、企業の課題解決に向けた技術指導、技術的課題解決支援事業、受託研究、人材育成のための技術者研修などにより、質の高い企業貢献ができるよう取り組んでいます。

（研究開発と成果移転）

産業技術の高度化や新規成長分野に対応する研究開発を進めるため、企業と連携して出口を見据えた研究開発に積極的に取り組みました。また、大学や企業と連携し、競争的研究資金の獲得による研究開発を進めました。

研究開発した成果はホームページへの掲載、企業訪問や技術セミナー等による紹介をはじめ、報道機関を通じた情報発信に努め、研究成果の県内企業移転への取組を行いました。

（技術支援と人材育成）

技術指導や依頼試験、設備利用、さらに技術的課題解決支援事業、受託研究などにより、企業からの要望に応えた積極的な技術支援への取組を行いました。

また、急激に進む技術革新、国内外との厳しい競争などへの対応のためには、優れた研究者・技術者の養成が必要であり、こうした人材育成に向け、業界ニーズに基づく技術者研修を計画・実施しました。

○ 研究開発事業

- ・ 課題解決研究は、業界全体のニーズに対応する一般型として材料製造プロセス分野 1 課題、個別企業のニーズに対応する共同研究型として、デザイン開発分野 1 課題、設計技術分野 1 課題の合計 2 課題を実施しました。DX 事業では、1 課題を実施しました。
- ・ 競争的外部資金等による研究開発 3 課題、企業や大学等との共同研究 9 課題、企業等からの依頼に基づく受託研究 9 課題を実施しました。
- ・ これらの研究成果は、技術セミナー等で紹介するとともに、研究報告やホームページへの掲載、また、人材育成事業や研究会活動、技術相談・指導等によって、県内企業への移転・普及を図ります。

○ 技術支援事業

- ・ 企業への新技術の導入や技術力向上等を図るための技術相談・指導は、所内 5,349 件、現地等所外で 106 件実施しました。
- ・ 企業からの依頼で試験、分析、測定等を行う依頼試験は、1,539 件でした。
- ・ 企業の新製品や新技術開発等を支援するため、試験、加工、分析装置などの設備機器を開放し、5,481 件※の利用がありました。
- ・ 企業の技術課題の解決策を検討する技術的課題解決支援事業（ギカジ）は、95 件実施しました。

※ 職員による設備操作支援(1,639件)を含む。

○ 技術移転事業

- ・ センターの技術や設備機器の利活用促進を図るため、技術セミナーをオンラインで開催しました。
- ・ 研究開発した成果を保護、活用するため、3 件の国内特許を出願しました。
- ・ 研究成果の普及を図るため、展示会等への出展を行うとともに、ホームページに研究報告（第 66 号）と成果概要（事業概要）を掲載しました。

○ 人材育成事業

- ・ 技術者研修として、「めっき研修」を実施しました。また、EV 対応推進事業の一環として熱物性測定研修を実施しました。

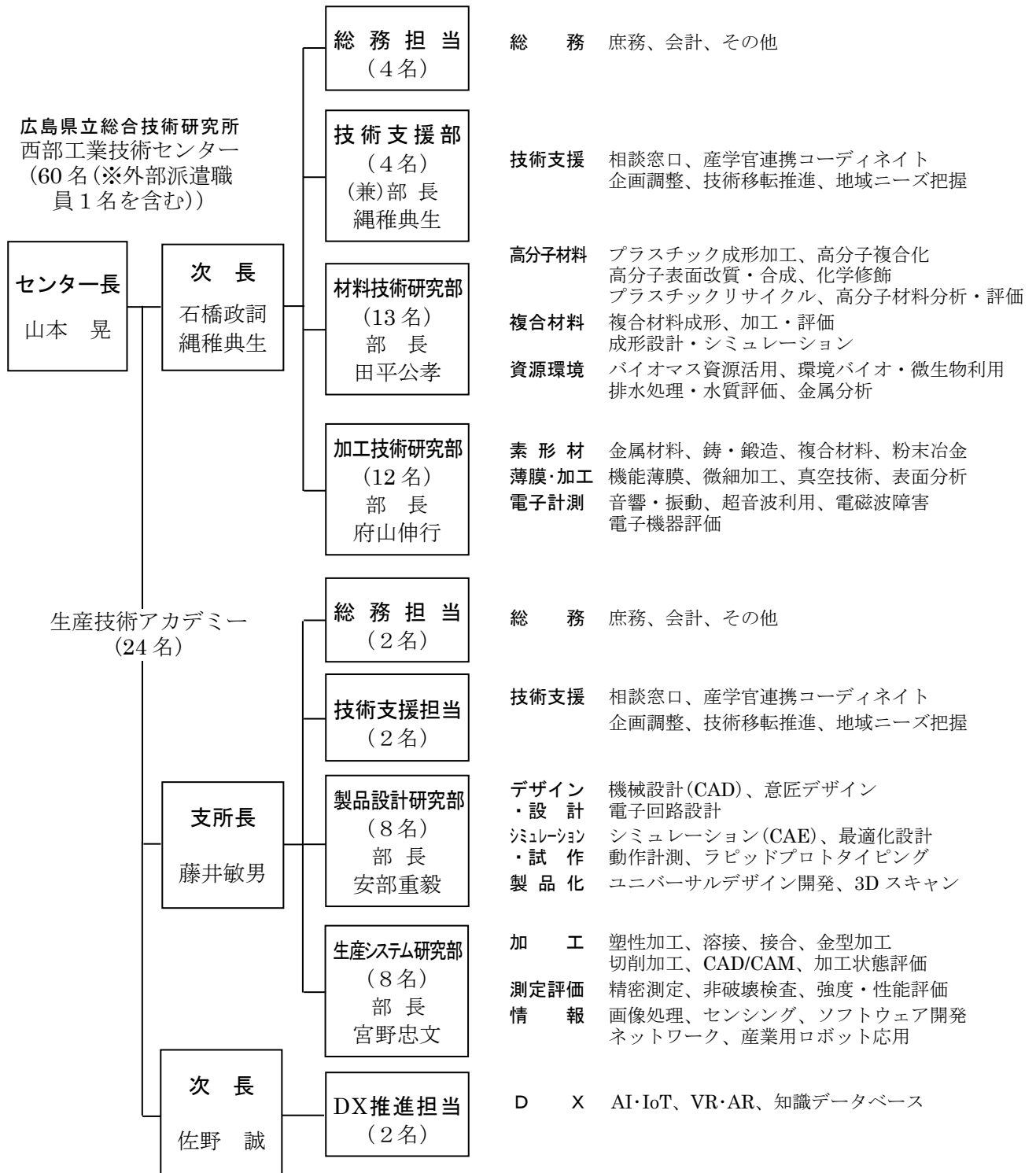
○ 産学官交流事業

- ・ 研究会活動として、広島県AI・IoT・ロボティクス活用研究会を2回開催しました。

2 事業実施体制

(1) 組 織

(令和5年4月1日現在)



人員 60 名（内、企業派遣 1 名、エルダースタッフ 5 名、会計年度任用職員 1 名、試験研究従事員 1 名）

(2) 土地・建物の現況

(本 所) 敷 地 : 18,457.94 m² 建 物 : 10,457.75 m²

名 称	構 造	年月日	建築面積(m ²)	延面積(m ²)
本 館 (ポンプ室含む)	鉄筋コンクリート造り 4 階	H5. 4. 1	2,316.00	7,068.92
第 一 実 験 棟 (渡り廊下含む)	鉄筋コンクリート造り 2 階	〃	726.05	1,353.20
第 二 実 験 棟	鉄筋コンクリート造り 2 階	〃	949.05	1,925.25
音 響 棟	鉄筋コンクリート造り平屋建て	〃	110.52	110.38

(生産技術アカデミー)

名 称	場 所	年月日	室面積 (m ²)
生産技術アカデミー (実験棟含む)	(株)広島テクノプラザ内	H13. 4. 1	2,320.73

(3) 職 員

① 現員の状況

(令和5年4月1日現在)

区 分		センター長	次長	支所長	部長	総括研究員	担当部長	副部長	主任研究員	研究員	主幹	主査	主任	会計年度任用職員	試験研究従事員	計
現 員		1	3	1	4	1	4	5	17	17	1	1	3	1	1	60
本 所		1	2													3
	総 務 担 当										1	1	2			4
	技 術 支 援 部				(1)		1			2						3
	材料技術研究部				1	1		2	5	4						13
	加工技術研究部				1		1	1	4	4					1	12
生産技術アカデミー			1	1												2
	総 務 担 当												1	1		2
	技 術 支 援 担 当						1		1							2
	製品設計研究部				1			1	4	3						9
	生産システム研究部				1			1	2	4						8
	D X 推 進 担 当						1		1							2

()内は兼務

② 職 員

(令和5年4月1日現在)

(本 所)

所属	職 名	氏 名
	セ ン タ ー 長	山 本 晃
	次 長	石 橋 政 詞
	次 長	縄 稚 典 生
総務担当	主 幹	西 原 久 人
	主 査	楠 岡 静 香
	主 任(エルダースタッフ)	北 野 智 之
	主 任(エルダースタッフ)	掲 野 史 也
技術支援部	(兼)部 長	縄 稚 典 生
	担当部長(営業担当)	池 田 裕 朗
	研 究 員	井 鷲 洋 介
	研究員(エルダースタッフ)	山 下 弘 之
材料技術研究部	部 長	田 平 公 孝
	総 括 研 究 員	本 多 正 英
	副 部 長	松 永 尚 徳
	副 部 長	小 島 洋 治
	主 任 研 究 員	菅 坂 義 和
	主 任 研 究 員	宗 綱 洋 人
	主 任 研 究 員	河 野 洋 輔
	主 任 研 究 員	西 田 裕 紀
	主 任 研 究 員	杉 原 正 洋
	研 究 員	坂 田 拓 也
	研 究 員	佐 川 洋 行
	研 究 員	丸 本 翼
加工技術研究部	研 究 員(エルダースタッフ)	下 原 伊智朗
	部 長	府 山 伸 行
	担 当 部 長	長谷川 浩 治
	副 部 員	伊 藤 幸 一
	主 任 研 究 員	間 山 清 和
	主 任 研 究 員	森 下 勇 樹
	主 任 研 究 員	岩 谷 稔
	主 任 研 究 員	寺 山 朗
	研 究 員	棗 田 洋 平
	研 究 員	長 岡 孝
	研 究 員	藤 本 直 也
	研 究 員	内 山 陽 介
	試験研究従事員	筒 本 隆 博

(生産技術アカデミー)

所属	職 名	氏 名
	支 所 長	藤 井 敏 男
	次 長	佐 野 誠
総務担当	主 任(エルダースタッフ)	永 末 浩 二
	会計年度任用職員	浦 島 紀 子
技術支援担当	担当部長(営業担当)	門 藤 至 宏
	主 任 研 究 員	友 國 慶 子
製品設計研究部	部 長	安 部 重 毅
	副 部 長	大 川 正 巳
	主 任 研 究 員	佐々木 憲 吾
	主 任 研 究 員	田 邊 栄 司
	主 任 研 究 員	橋 本 晃 司
	主 任 研 究 員	横 山 詔 常
	研 究 員	姫 宮 一 輝
生産システム研究部	研 究 員	富 田 佳 央
	部 長	宮 野 忠 文
	副 部 長	門 格 史
	主 任 研 究 員	前 田 圭 治
	主 任 研 究 員	岡 野 仁
	研 究 員	小 玉 龍
	研 究 員	石 田 大 騎
DX推進担当	研 究 員	久保田 将 矢
	研 究 員	坂 本 一 真
	担 当 部 長	村 河 亮 利
	主 任 研 究 員	倉 本 丈 久

(企業派遣)

一	研 究 員	末 村 紘 志
---	-------	---------

人員 60 名 (内、企業派遣 1 名、エルダースタッフ 5 名、会計年度任用職員 1 名、試験研究従事員 1 名)

(4) 予算執行状況

① 歳 入

(単位：千円)

科 目	令和4年度	令和5年度
使用料及び手数料	22,907 (27,472)	19,334 (25,801)
使 用 料	13,006 (17,285)	10,617 (16,597)
手 数 料	9,901 (10,187)	8,717 (9,204)
諸 収 入	14,604	25,286
受 託 事 業 収 入 試験研究受託金	4,948	14,992
受 託 事 業 収 入 技術的課題解決支援事業受託金	7,917	8,611
雑 入 弁 償 金	132	90
雑 入 雑 収 入	1,607	1,593
財 産 収 入	—	—
物 品 売 払 収 入	—	—
合 計	37,511 (42,076)	44,620 (51,087)

注) ・()内は、ひろしま産学共同研究拠点の使用料・手数料を含む。

・金額は表示単位未満四捨五入のため、合計金額と一致しないことがある。

② 歳 出

(単位：千円)

科 目	令和4年度	令和5年度
総 務 費 企 画 費 研 究 開 発 費	130,688	164,230

3 研究開発事業

(1) 研究開発

課題解決研究は、一般型として材料製造プロセス分野 1 課題、共同研究型としてデザイン開発分野 1 課題、設計技術分野 1 課題の合計 2 課題を実施しました。基盤研究は、加工技術/機械学習分野 1 課題、加工技術分野 1 課題の合計 2 課題を実施しました。DX 事業では、1 課題を実施しました。

また、競争的外部資金等による研究を 3 課題、企業や大学等との共同研究 9 課題、企業等からの依頼に基づく受託研究を 9 課題実施しました。

① 課題解決研究（一般型）（1 課題）

技術分野	研 究 課 題	研究期間 (年 度)	担 当 部
材料製造プロセス	デジタルものづくりによる不良レス射出成形技術の開発	R4～ R6	材料技術研究部 加工技術研究部 生産システム研究部

② 課題解決研究（共同研究型）（2 課題）

技術分野	研 究 課 題	研究期間 (年 度)	担 当 部
デ ザ イ ン 開 発	質感パラメータ決定手法の開発	R5	製品設計研究部
設 計 技 術	薄板構造物の高精度強度解析と外力モニタリングに基づく設計基準の策定	R5	製品設計研究部 加工技術研究部

③ 基盤研究（所長枠）（2 課題）

技術分野	研 究 課 題	研究期間 (年 度)	担 当 部
加工技術/機械学習	熟練技能のデジタル化に関する研究	R5	加工技術研究部
加 工 技 術	デジタルツインを実現するための成形中の金型可視化技術の開発	R5	加工技術研究部

④ DX 事業（1 課題）

技術分野	研 究 課 題	期間	担当部
D X	事業者支援のためのDX基盤技術の構築	R5～R7	D X 推 進 担 当 製品設計研究部 生産システム研究部 加工技術研究部

⑤ 競争的外部資金等研究（3課題）

事業名	研究課題	研究概要	期間	担当部
NEDO 海洋生分解性プラスチックの社会実装に向けた技術開発事業	生分解性試料の実海域浸漬試験の実施とその生分解及び物性評価試験	海洋生分解性プラスチックの開発、市場導入を促進するため、海洋生分解メカニズムに裏付けされ、ISO 国際標準化を視野に入れた生分解性評価手法開発の研究開発項目「海洋生分解性に係る評価手法の確立」において、実海域で実際に試料を浸漬させる実環境試験を行い、この簡易実環境試験方法の確立とともに、ラボ試験からの実環境生分解予測の各種因子抽出を行います。	R2 ～R5	材料技術 研究部
成長型中小企業等研究開発支援事業	光改質により強固なガラス化層を有するポリカーボネート樹脂製透明材料の開発	軽量でデザイン性に優れるポリカーボネート（PC）樹脂製の窓は強化ガラスに代わる次世代自動車用窓素材として期待されているが、現在実施されているハードコート表面処理による耐久性の向上は自動車用途での要求レベルには達していない。本研究開発では、独自技術であるポリシラザンと光改質技術を用いてハードコート層の最表面に緻密なガラス層を形成することで「超耐久性」を有した自動車用樹脂窓の開発を目指す。	R4 ～R6	材料技術 研究部
新技術創出研究会	自動牡蠣打ちシステムのための不定形牡蠣把持・固定機構の開発	広島県が全国一の水揚げ量を誇る「牡蠣（カキ）」は、大部分が1個1個手作業の「牡蠣打ち」によって剥き身にされ出荷されている。しかし、「牡蠣打ち」熟練者は年々減少し、自動化が喫緊の課題とされている。本研究会はロボティクス技術を用い、最終目的「牡蠣打ち自動化」の一環として、重要な「牡蠣の把持・固定」機構を開発する。	R5	生産システム 研究部 製品設計 研究部

⑥ 共同研究（９課題）

（共同研究先別課題数）

共同研究先	材料技術 研究部	加工技術 研究部	製品設計 研究部	生産システム 研究部	合 計	比 率 (%)
企 業 等	1(1)	(1)	4		5(2)	55.6
大 学 等	1	(1)	1	1(3)	3(4)	33.3
国 研 究 機 関	1				1	11.1
合 計	3(1)	(2)	5	1(3)	9(6)	100.0

※) ()付きは、他部課題への支援件数

⑦ 受託研究（９課題）

（委託者の業種別課題数）

業 種 №.	委託者の業種	材料技術 研究部	加工技術 研究部	製品設計 研究部	生産システム 研究部	合 計	比 率 (%)
1	食 料 品 製 造 業					0	0.0
7	化 学 工 業			(2)	2	2(2)	22.2
9	プラスチック製品製造業					0	0.0
11	窯業・土石製品製造業					0	0.0
15	はん用・生産用・業務用機 械 器 具 製 造 業	1				1	11.1
17	電 気 機 械 器 具 製 造 業					0	0.0
19	輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業					0	0.0
28	教育、学術研究、専門・技術サービス業	2	3	1		6	66.7
30	そ の 他					0	0.0
合 計		3	3	1(2)	2	9(2)	100.0

※) ()付きは、他部課題への支援件数

4 技術支援事業

(1) 技術相談・指導

① 業種別件数

業種 No.	業 種	所内指導				現地指導			
		令和4年度		令和5年度		令和4年度		令和5年度	
		件数 (件)	比率 (%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
1	食 料 品 製 造 業	63	1.2	65	1.2	3	1.9	1	0.9
2	繊 維 工 業	135	2.5	68	1.3	15	9.3	3	2.8
3	木材・木製品製造業	31	0.6	93	1.7		—	1	0.9
4	家具・装備品製造業	6	0.1	50	0.9		—	1	0.9
5	パルプ・紙・紙加工品製造業	23	0.4	17	0.3		—		—
6	印 刷 ・ 同 関 連 業	23	0.4	32	0.6		—		—
7	化 学 工 業	415	7.7	268	5.0	2	1.2	6	5.7
8	石油製品・石炭製品製造業	10	0.2	3	0.1		—		—
9	プラスチック製品製造業	494	9.1	694	13.0	7	4.3	7	6.6
10	ゴ ム 製 品 製 造 業	102	1.9	18	0.3	8	5.0		—
11	窯業・土石製品製造業	150	2.8	19	0.4		—		—
12	鉄 鋼 業	70	1.3	62	1.2		—		—
13	非 鉄 金 属 製 造 業	140	2.6	81	1.5		—	1	0.9
14	金 属 製 品 製 造 業	469	8.7	601	11.2	21	13.0	2	1.9
15	はん用・生産用・業務用機械器具製造業	1,159	21.4	1,012	18.9	19	11.8	9	8.5
16	電子部品・デバイス・電子回路製造業	72	1.3	93	1.7		—	3	2.8
17	電気機械器具製造業	336	6.2	164	3.1	5	3.1	5	4.7
18	情報通信機械器具製造業	27	0.5	41	0.8		—	4	3.8
19	輸送用機械器具製造業	574	10.5	483	9.0	7	4.3	4	3.8
20	そ の 他 の 製 造 業	206	3.8	361	6.7	7	4.3	1	0.9
21	農 業、林 業、漁 業	1	0.0	43	0.8	3	1.9	13	12.3
22	鉱業、砕石業、砂利採取業	16	0.3	21	0.4	1	0.6		—
23	建 設 業	10	0.2	22	0.4	2	1.2	4	3.8
24	電気・ガス・熱供給・水道業	16	0.3	12	0.2		—		—
25	情 報 通 信 業		—	3	0.1	2	1.2		—
26	運 輸 業、郵 便 業		—		—		—		—
27	卸 売 業、小 売 業	127	2.3	91	1.7		—	4	3.8
28	教育、学術研究、専門・技術サービス業	462	8.5	814	15.2	32	19.9	30	28.3
29	医 療、福 祉	30	0.6	52	1.0	8	4.4	2	1.9
30	そ の 他	247	4.6	66	1.2	19	11.8	5	4.7
合 計		5,414	100.0	5,349	100.0	161	100.0	106	100.0

② 地域別件数

地域 No.	地 域		所内指導				現地指導			
			令和4年度		令和5年度		令和4年度		令和5年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
1	広島市		1,393	25.7	1,194	22.3	47	29.2	1	0.9
2	呉市		1,097	20.3	1,274	23.8	15	9.3		－
3	竹原市		88	1.6	59	1.1	6	3.7		－
4	三原市		90	1.7	79	1.5		－	15	14.2
5	尾道市		68	1.3	28	0.5		－		－
6	福山市		116	2.1	182	3.4	3	1.9	2	1.9
7	府中市		49	0.9	33	0.6		－	1	0.9
8	三次市		25	0.5	42	0.8		－	1	0.9
9	庄原市		108	2.0	78	1.5	2	1.2		－
10	大竹市		88	1.6	40	0.7		－	5	4.7
11	東広島市		912	16.8	957	17.9	63	39.1	15	14.2
12	廿日市市		81	1.5	95	1.8	1	0.6		－
13	安芸高田市		94	1.7	65	1.2	1	0.6	2	1.9
14	江田島市		26	0.5	7	0.1	1	0.6		－
15	府中町		221	4.1	197	3.7	6	3.7		－
16	海田町		167	3.1	98	1.8		－		－
17	熊野町		13	0.2	28	0.5		－	2	1.9
18	坂町			－	9	0.2		－		－
19	安芸太田町		7	0.1		－	2	1.2		－
20	北広島町		32	0.6	22	0.4		－		－
21	大崎上島町		14	0.3		－		－	14	13.2
22	世羅町			－		－		－		－
23	神石高原町			－		－		－	2	1.9
24	県外	山口県	34	0.6	24	0.4	2	1.2		－
25		岡山県	46	0.8	112	2.1	1	0.6	7	6.6
26		島根県	2	0.0	9	0.2		－	3	2.8
27		鳥取県		－		－		－		－
28		その他都道府県	643	11.9	717	13.4	11	6.8	36	34.0
合 計			5,414	100.0	5,349	100.0	161	100.0	106	100.0

(2) 依頼試験

① 試験項目別件数

分類	試験項目	コード	令和4年度		令和5年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
一 試験及び測定	1 材料試験	B	764	44.4	521	33.9
	2 機械器具等の試験	C	15	0.9	16	1.0
	3 ひずみ測定	D		—		—
	4 騒音及び振動測定	E		—		—
	5 化学試験	F	13	0.8		—
	6 腐食耐候性試験	G	10	0.6	37	2.4
	7 めっき、塗膜等の被膜試験	H	11	0.6	3	0.2
	8 高分子材料試験	I	576	33.5	713	46.3
	9 測定	J	55	3.2	22	1.4
二 検査及び分析	1 一般定性分析	K	2	0.1		—
	2 一般定量分析	L	57	3.3	36	2.3
	3 特殊定性分析及び特殊定量分析	M	135	7.8	124	8.1
	4 工業用水及び工場排水検査	N		—		—
三 写真		O P Q R	17	1.0	22	1.4
四 試作		S		—		—
共通	一 成績書及び証明	T U		—		—
	二 他の項に定めのない試験等	V		—		—
	三 前処理及び試料調整	W	68	3.9	44	2.9
合 計			1,723	100.0	1,539	100.0

② 地域別件数

地域 No.	地 域		令和 4 年度		令和 5 年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
1	広島市		300	17.4	243	15.8
2	呉市		439	25.5	521	33.9
3	竹原市			—		—
4	三原市		4	0.2		—
5	尾道市		7	0.4		—
6	福山市		3	0.2	3	0.2
7	府中市			—	210	13.6
8	三次市			—	13	0.8
9	庄原市		118	6.9	36	2.3
10	大竹市			—		—
11	東広島市		110	6.4	182	11.8
12	廿日市市		24	1.4	2	0.1
13	安芸高田市		366	21.3	6	0.4
14	江田島市		36	2.1		—
15	府中町			—	2	0.1
16	海田町			—		—
17	熊野町			—	5	0.3
18	坂町			—		—
19	安芸太田町		6	0.3		—
20	北広島町			—	42	2.7
21	大崎上島町			—		—
22	世羅町			—		—
23	神石高原町			—		—
24	県外	山口県		—		—
25		岡山県	22	1.3	13	0.8
26		島根県	9	0.5		—
27		鳥取県		—		—
28		その他都道府県	279	16.2	261	17.0
合 計			1,723	100.0	1,539	100.0

(3) 設備利用

① 設備別件数

分類	コード	設 備 名	令和4年度		令和5年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
測定機器・試験機器及び分析機器	A001	万能試験機(一)10 トン	287	5.4	137	2.9
	A002	万能試験機(二)25 トン	139	2.6	132	2.8
	A003	万能試験機(三)50 トン	79	1.5	36	0.8
	A004	万能試験機(四)100 トン	62	1.2	73	1.5
	A005	流れ試験機	22	0.4	4	0.1
	A007	サーボバルサー		—	145	3.0
	A008	ICP 発光分光分析装置	180	3.4	135	2.8
	A010	恒温恒湿室	85	1.6	31	0.6
	A011	実体顕微鏡	3	0.1	2	0.0
	A012	透過型微分干渉顕微鏡		—		—
	A019	ひずみ計		—		—
	A021	走査型電子顕微鏡(日本電子 JSM-6510A)	535	10.1	497	10.4
	A022	蒸着装置	5	0.1	4	0.1
	A023	恒温恒湿器(300L)	80	1.5	44	0.9
	A024	振動試験機	209	3.9	132	2.8
	A025	防振台		—		—
	A026	自動ヒートディストーションテスタ	7	—	35	0.7
	A027	複合材料カッティングマシン	122	—	28	0.6
	A028	粒度分布測定装置	5	0.1	31	0.6
	A029	硬さ計	45	0.8	23	0.5
	A030	粉碎機		—	8	0.2
	A031	回流水槽		—		—
	A032	二軸押出成形機	168	3.2	509	10.6
	A033	射出成形機	130	2.4	127	2.7
	A034	熱伝導率計	49	0.6	24	0.5
	A036	示差熱分析装置	127	2.4	32	0.7
	A037	熱膨張測定装置		—	144	3.0
	A039	AE 付密着性試験機		—		—
	A040	イオンクロマトグラフ分析装置	61	1.1	49	1.0
	A042	光学顕微鏡	44	0.8	24	0.5
	A043	試料切断機	14	0.3	10	0.2
	A044	試料研磨機	27	0.5	37	0.8
	A045	非接触三次元測定装置	18	0.3		—
	A052	ラピッドプロトタイピング装置(一)熱溶解積層		—		—
	A054	動作解析装置		—		—
	A055	プラズマエッチング装置	4	0.1	6	0.1
	A056	マスクアライメントシステム		—		—
	A057	エリプソメータ	2	0.0	6	0.1
	A058	音響計測装置	16	0.3	26	0.5

分類	コード	設 備 名	令和4年度		令和5年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
測定機器・試験機器及び分析機器	A059	X線分析顕微鏡		—		—
	A060	万能塑性加工機		—		—
	A061	X線CT検査装置	14	0.3		—
	A062	赤外線熱画像処理装置	5	0.1	3	0.1
	A063	X線応力測定装置	18	0.3	18	0.4
	A064	計測データ記録装置		—		—
	A065	三次元測定機	62	1.2	2	0.0
	A066	自動万能薄板試験機		—	20	0.4
	A067	高周波加熱装置		—		—
	A068	デジタルマイクロスコープ	75	1.4	65	1.4
	A069	表面粗さ測定機	19	0.4	7	0.1
	A070	走査型電子顕微鏡(平成13年製)	18	0.3		—
	A071	引張試験機	16	0.3	39	0.8
	A073	やすり切削性能試験機	12	0.2	9	0.2
	A074	摩擦磨耗試験機	37	0.7	11	0.2
	A075	床衝撃音レベル測定装置		—		—
	A076	高速液体クロマトグラフ質量分析装置		—		—
	A077	表面抵抗計	6	0.1	7	0.1
	A078	放電焼結装置		—		—
	A080	非接触振動計(レーザドップラ振動計)	6	0.1		—
	A081	赤外分光分析装置	224	4.2	170	3.5
	A082	アイゾット衝撃試験装置	53	1.0	19	0.4
	A083	蛍光X線装置	64	1.2	102	2.1
	A084	カッティングプロッタ		—		—
	A085	ネットワーク/インピーダンスアナライザ	5	0.1		—
	A086	耐圧試験機		—		—
	A087	絶縁抵抗計		—	12	0.3
	A088	測圧機		—		—
	A090	投影機		—	11	0.2
	A091	プロトコルアナライザ		—		—
	A092	デジタルオシロ		—		—
	A093	筋電計		—		—
	A095	ガスクロマトグラフ質量分析装置	162	3.0	18	0.4
	A096	電気炉	26	0.5	33	0.7
	A097	高周波溶解炉		—		—
	A098	ホットプレス		—		—
	A128	シャルピー式衝撃試験装置		—		—
	A129	キャス試験機	23	0.4	24	0.5
	A130	めっき膜厚計(電磁式)		—		—
	A132	めっき膜厚計(電解式)	45	0.8	46	1.0

分類	コード	設 備 名	令和4年度		令和5年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
一 測定機器・試験機器及び分析機器	A133	イメージ分光システム		—	5	0.1
	A134	高速高精細カメラシステム		—		—
	A135	サーベイメータ		—		—
	A137	複合サイクル試験機	36	0.7	114	2.4
	A138	小型射出成型機		—		—
	A139	小型押出機		—		—
	A140	落錘衝撃試験機		—		—
	A141	大型高速衝撃圧縮試験機	572	10.8	482	10.1
	A142	ハイスピードカメラ	79	1.5	120	2.5
	A143	超音波顕微鏡		—	59	1.2
	A144	光学式動作解析装置	10	0.2	5	0.1
	A145	アーム型三次元形状測定装置		—		—
	A146	生体信号計測装置	3	0.1	10	0.2
	A147	恒温恒湿器(460L)	16	0.3	18	0.4
	A148	レーザー超音波可視化装置		—		—
	A151	微小圧縮試験機		—		—
	A152	屈折率計		—	4	0.1
	A153	粒度分布測定装置(光散乱式)		—	4	0.1
	A154	分光光度計	77	1.4	58	1.2
	A155	粘度計	3	0.1	5	0.1
	A156	X線回折装置	41	0.8	38	0.8
	A157	比表面積測定装置	19	0.4	50	1.0
	A158	レーザードップラー振動計	84	1.6	30	0.6
	A159	音響インテンシティ計測システム	160	3.0		—
	A160	振動音響解析ソフト		—		—
	A161	高周波計測システム		—		—
	A162	TOC計		—	9	0.2
	A163	全焦点三次元測定装置	33	0.6	68	1.4
	A164	恒温恒湿器(20L)		—		—
	A165	恒温恒湿器(800L)	113	2.1	87	1.8
	A166	大型恒温槽	2	0.0	9	0.2
	A167	恒温槽	29	0.5	3	0.1
	A168	天びん		—	4	0.1
	A172	摩擦摩耗試験機(平面往復式)	91	1.7	34	0.7
二 加工機器	A099	普通旋盤	7	0.1	32	0.7
	A100	フライス盤	12	0.2	25	0.5
	A101	ボール盤		—	2	0.0
	A102	高速帯のこ盤	10	0.2	32	0.7
	A104	折曲機		—	2	0.0
	A106	交流アーク溶接機		—		—
	A109	マシニングセンター		—		—
	A110	スクイズキャストマシン		—	40	0.8

分類	コード	設 備 名	令和4年度		令和5年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
二 加工 機器	A112	スパッタリング装置	8	0.2		—
	A114	CVD 装置	12	0.2		—
	A117	プレス(加熱型)	28	0.5	34	0.7
	A118	高速マシニングセンター		—		—
	A119	複合 NC 旋盤		—		—
	A120	NC フライス盤		—		—
	A122	溶接ロボット		—		—
	A124	卓上加工機		—		—
	A169	産業用ロボット(20kg 可搬 7 軸)		—		—
	A227	CFRP オートクレーブ(大型)	40	0.8	21	0.4
	A228	CFRP オートクレーブ(小型)	38	0.7	63	1.3
	A229	5 軸マシニングセンター		—		—
	A231	CFRP 用プレス	210	3.9	104	2.2
	A232	CFRP 用金型加熱装置	61	1.1	22	0.5
三 試験 室	A125	無響室	42	0.8	32	0.7
	A126	シールドルーム	56	1.1	54	1.1
	A127	残響室		—	3	0.1
小 計			5,318	100.0	4,789	100.0

(ひろしま産学共同研究拠点)

分類	コード	設 備 名	令和4年度		令和5年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
一 分析 機械	A506	ナノフォーカス X 線 CT	259	43.7	268	38.7
	A507	電界放射走査電子顕微鏡		—	24	3.5
	A508	電界放射走査電子顕微鏡(付属ナノメカニカル装置使用)	21	3.5		—
	A509	集束イオンビーム源付電界放射走査電子顕微鏡	199	33.6	243	35.1
	A501	透過型電子顕微鏡	110	18.5	64	9.2
	A502	顕微鏡試料作成装置		—		—
	A503	ウルトラミクロトーム		—		—
	A504	透過型電子顕微鏡関連機器		—	7	1.0
	A505	光電子分光装置関連機器		—		—
二 測定 機械	A510	音響透過損失測定装置		—	21	3.0
	A511	残響室法吸音率測定装置		—	31	4.5
	A521	光電子分光装置	4	0.7	34	4.9
小 計			593	100.0	692	100.0

年 度	令和4年度	令和5年度
合 計 件 数 (件)	5,911 (うち職員操作支援 : 1,751 件)	5,481 (うち職員操作支援 : 1,639 件)

② 地域別件数

地域 No.	地 域		令和 4 年度		令和 5 年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
1	広	島 市	1,306	22.1	1,129	20.6
2	呉	市	897	15.2	814	14.9
3	竹	原 市	106	1.8	67	1.2
4	三	原 市	122	2.1	69	1.3
5	尾	道 市	30	0.5	13	0.2
6	福	山 市	102	1.7	190	3.5
7	府	中 市	23	0.4	14	0.3
8	三	次 市	17	0.3	55	1.0
9	庄	原 市	86	1.5	61	1.1
10	大	竹 市		—	83	1.5
11	東	広 島 市	852	14.4	876	16.0
12	廿	日 市 市	67	1.1	78	1.4
13	安	芸 高 田 市	148	2.5	112	2.0
14	江	田 島 市	2	0.03	3	0.1
15	府	中 町	344	5.8	271	4.9
16	海	田 町	104	1.8	70	1.3
17	熊	野 町		—	10	0.2
18	坂	町		—	13	0.2
19	安	芸 太 田 町		—		—
20	北	広 島 町	27	0.5	6	0.1
21	大	崎 上 島 町	16	0.3		—
22	世	羅 町		—		—
23	神	石 高 原 町		—		—
24	県 外	山 口 県	69	1.2	18	0.3
25		岡 山 県	64	1.1	345	6.3
26		島 根 県		—	19	0.3
27		鳥 取 県		—		—
28		そ の 他 都 道 府 県	1,223	20.7	1,165	21.3
合 計			5,911	100.0	5,481	100.0

注) ひろしま産学共同研究拠点利用分を含む。

③ 機器整備

(平成 26 年度以降設置備品【取得金額 300 万円以上】)

名 称	メーカ・型式	使用目的	取得 年度	設置場所	備考
ファイバーレーザー加工システム	マツモト機械(株) FLWC-D (IPG フォトニクスジャパン(株) YLR-3000 他)	レーザー溶接・切断	R5	Y A G レーザ加工室※	JKA 補助金
溶接可視化撮影用ハイスピードカメラシステム	(株)ナックイメージテクノロジー MEMRECAM MX 他	溶接時の熔融池観察および溶接電流測定	R5	NC 加工室	
粒度分布測定器	ベックマン・コールター (株) 型式: LS 13 320 シリーズ (超音波キット含む)	金属等の粒径及び頻度の測定	R5	材料物性試験室	
蛍光 X 線分析装置	(株) リガク ZSX primus IV	未知試料の成分分析	R3	電子顕微鏡室	JKA 補助金
電動式射出成形機	(株)日本製鋼所 J80ADS-110U	樹脂製品の成形	R2	先端複合材料開放試験室	JKA 補助金
ハンディタイプ非接触三次元形状・外観測定装置	CREAFORM 社 Go! SCAN SPARK	持ち運び使用可能で高速・高精度の三次元形状測定	R2	モデル試作室※	
非接触 3 D 表面形状測定装置	ブルカーアリコナ社 インフィニートフォーカス	非接触で測定物形状を多点かつ高精度測定	R1	精密測定室※	JKA 補助金
自動ボンベ熱量計	小川サンプリング(株) O.S.K100-5	総発熱量の測定	R1	有機化学試験室	
赤外分光分析装置	日本分光(株) FT/IR-6600、IRT-7200	有機物の微小領域の分析	H29	赤外分光分析室	JKA 補助金
万能試験機	(株)島津製作所 AG-10KNXplus	温度を変えた精密万能試験	H29	プラスチック材料開放試験室	
光ファイバー温度計	JFE プラントエンジニア(株) FIMTHERM-H	高速な温度測定	H28	材料物性試験室	JKA 補助金
レーザー超音波可視化検査装置	つくばテクノロジー(株) LUVI-CP1	各種材料の欠陥検査	H27	非破壊検査室	地域オープンイノベーション促進事業
恒温恒湿室	エスベック(株) TBE-3EW6P2T	耐熱性試験、耐湿試験等	H27	環境試験室	JKA 補助金
恒温恒湿器(460L)	楠本化成(株) HIFLEX NEO FX-420N	耐熱性試験、耐湿試験等	H27	機械工作室	
パソコン用ソフト	ラティス・テクノロジー(株) Vmech 他	ロボット用CAD及びシミュレータ	H27	NC 加工室※	
振動試験機	IMV(株) i230/SA2M	電子部品や自動車部品等の振動試験	H26	振動実験室	JKA 補助金
モーションキャプチャー装置	Vicon Motion System Bonita10 カメラシステム	動作解析、歩行解析等	H26	実験デザイン室※	地域オープンイノベーション促進事業
生体信号計測装置	ディケイエイチ DL-5000 Tobii Technology トビーグラス2	筋電位と視線計測の操作性・身体負担検証	H26	実験デザイン室※	地域オープンイノベーション促進事業
三次元形状計測装置	東京貿易テクノシステム(株) Vectoron VMC6646Mpls	接触及び非接触による3次元形状測定	H26	モデル試作室※	地域オープンイノベーション促進事業

※ 生産技術アカデミー

(4) 技術的課題解決支援事業（ギカジ）

（業種別件数）

業 種 No.	業 種	令和4年度		令和5年度	
		件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
1	食 料 品 製 造 業	2	1.7		—
2	織 維 工 業		—	1	1.1
3	木 材 ・ 木 製 品 製 造 業		—	5	5.3
4	家 具 ・ 装 備 品 製 造 業		—	2	2.1
7	化 学 工 業	2	1.7	2	2.1
9	プ ラ ス チ ッ ク 製 品 製 造 業	4	3.4	10	10.5
10	ゴ ム 製 品 製 造 業	9	7.6	2	2.1
11	窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業	3	2.5	1	1.1
12	鉄 鋼 業		—	1	1.1
13	非 鉄 金 属 製 造 業	4	3.4	3	3.2
14	金 属 製 品 製 造 業	13	11.0	8	8.4
15	はん用・生産用・業務用機械器具製造業	40	33.9	21	22.1
16	電子部品・デバイス・電子回路製造業	1	0.8		—
17	電 気 機 械 器 具 製 造 業	3	2.5	2	2.1
18	情報通信機械器具製造業	2	1.7		—
19	輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	11	9.3	11	11.6
20	精 密 機 械 器 具 製 造 業		—	1	1.1
21	そ の 他 の 製 造 業	4	3.4	10	10.5
23	建 設 業		—		—
28	教育、学術研究、専門・技術サービス業	19	16.1	9	9.5
24	協 同 組 合 ・ 団 体		—	4	4.2
29	医 療 ・ 福 祉	1	0.8	2	2.1
合 計		118	100.0	95	100.0

(5) 現地指導

派遣先機関	内 容	場 所	回数	派遣者数 (人日)	派遣日
(公財) 中国地域創造 研究センター	現地指導	コーポレーション ホールスター	5	5	R 5.5.13 R 5.5.25 R 5.5.31 R 5.6.29 R 6.1.29
(公財) 中国地域創造 研究センター	現地指導	中国電力	2	2	R 5.5.30 R 6.3.8
(公財) 中国地域創造 研究センター	現地指導	アトム	3	3	R 5.5.10 R 5.6.8 R 5.8.17
(公財) 中国地域創造 研究センター	現地指導	産総研	1	1	R 5.7.19
宮島町商工会	現地指導	廿日市市	2	2	R 5.10.13 R 5.11.5

5 技術移転事業

(1) 広島県立総合技術研究所西部工業技術センター 保有技術紹介セミナー

- 開催日：オンデマンド方式 令和5年11月1日（水）～12月1日（金）
 センター見学・体験 令和5年11月15日（水）10:00～、13:30～
- 開催方法：オンデマンド方式（クラウドストレージ「Box」による動画配信）
 センター見学・体験 西部工業技術センター本所・生産技術アカデミー
- 参加人数：76名
- 開催内容：センターの研究成果や保有技術（設備を含む。）について紹介しました。
- プログラム

(1) 西部工業技術センター（呉）の研究成果・保有技術の紹介 ～ 4テーマ

- ①局所熱伝達を考慮したアルミ鋳造シミュレーション
加工技術研究部 主任研究員 寺山 朗
- ②目視計測技能のデジタル化
加工技術研究部 副部長 伊藤 幸一
- ③デジタルものづくりによる不良レス射出成形技術
材料技術研究部 副部長 松永 尚徳
- ④海洋分解性かきパイプ材料の開発
材料技術研究部 主任研究員 宗綱 洋人

(2) 生産技術アカデミー（東広島）の研究成果・保有技術の紹介 ～ 5テーマ

- ⑤VR/AR技術を用いた公設試のバーチャル化（第3報）—熟練技術の継承に関わる取組—
製品設計研究部 主任研究員 佐々木 憲吾
- ⑥機械学習を活用したメソスケール3D解析技術
製品設計研究部 主任研究員 田邊 栄司
- ⑦高齢者の健康的魅力度の歩行評価技術
製品設計研究部 主任研究員 横山 詔常
- ⑧びびり安定度に基づいた最適ホルダ選択技術の開発
製品設計研究部 研究員 姫宮 一輝
- ⑨農水産フィールドでのIoTセンシング実証
生産システム研究部 主任研究員 間山 清和

(3) センター見学・体験

- 呉 目視計測技能のデジタル化事例見学(加工)、射出成形機＋射出不良レス技術見学(材料)
- 東広島 VRコンテンツ見学体験(DX)、グッドデザイン賞受賞の鉗子の見学(製品設計)
 IoTセンシング事例見学(生産)

(2) 研究成果の公表

① 投 稿

No.	テーマ名	氏 名	学協会・誌名等
1	Porosity Engineering of Pt-Loaded Nb-SnO ₂ Catalyst Layers in Polymer Electrolyte Fuel Cells	Tomoyuki Hirano, Takama Tsuboi, Thi Thanh Nguyen Ho, Eishi Tanabe, Aoi Takano、Mikihiro Kataoka, and Takashi Ogi	ACS Applied Energy Materials 2023 6 (24), 12364-12370
2	有機溶媒を用いたCrMnFeCoNi含有皮膜の電析による合成	肖 天、王 栄光、田辺 栄司	表面技術, 2023; 74 巻 4 号 p. 225-233
3	チクソモールド成形されたAZ91D マグネシウム合金の疲労強度に及ぼすプラズマ電解酸化の影響	日野 実、杉田 翔英、小林 辰徳、田辺 栄司、山口 毅、橋本 嘉昭、堀 誉裕	軽金属, 2024; 74 巻 2 号 p. 111-116
4	Plastic behavior of a film type of epoxy adhesive under a wide range of stress multiaxiality conditions	Yousuke Kouno, Makoto Imanaka, Ryutaro Hino, Masaki Omiya & Fusahito Yoshida	Journal of Adhesion Science and Technology
5	アルミニウム合金溶湯とフラン自硬性積層造形鋳型の接触状態によって変化する熱伝達係数の推定	中村侑未、高木健輔、寺山 朗、頃安貞利、志賀英俊、神戸洋史、前田安郭、ムハマドハイリファイズ、沖村泰彦、永田益大、岡根利光、宮下朋之、吉田 誠	鋳造工学, 2023; 95 巻 4 号 p. 183-189
6	高温超電導マグネットを用いたアルミ押出成形用 400 kW 級直流誘導加熱装置の開発—連続繰り返し加熱試験と高温超電導マグネットの健全性評価—	伊東 徹也、福井 聡、河島 裕、緒方 康博、正 孝幸、古瀬 充穂、渡部 智則、長屋 重夫、小川 純、森下 勇樹、長岡 孝、府山 伸行、縄稚 典生	低温工学, 2023; 58 巻 3 号 p. 124-131

② 口頭発表等

No.	テーマ名	氏 名 (○:発表者)	場 所 (学協会等)	発 表 日
1	水産物の商品特徴の数値化による市場拡大と競争力 UP への挑戦 ～殻付き牡蠣を対象に～	○友國慶子	養殖場高度化推進研究センター第 17 回セミナー	R 5 . 5 . 2 4
2	機械学習を用いた転倒予防の介入判定モデルの検討	○横山詔常	日本生理人類学会 (九州大学西新プラザ)	R 5 . 6 . 1 6
3	Xe プラズマ FIB-TOF-SIMS による Li-Cr-Mn-Fe-Co-Ni 合金中の Li マップ	○田邊栄司、王 栄光、 肖 天	日本顕微鏡学会第 79 回学術講演大会 (くにびきメッセ)	R 5 . 6 . 2 6
4	VR/AR 技術による施設・技能のバーチャル化	○佐々木憲吾	法人向け XR ソリューションの未来を探るシンポジウム	R 5 . 9 . 1
5	広島地域における人間工学関連技術の地域振興	○横山詔常	人間工学会関西支部大会 (千葉大学)	R 5 . 9 . 7
6	VR/AR 技術による施設・技能のバーチャル化	○佐々木憲吾	中国・四国地域公設試験研究機関研究者合同研修会	R 5 . 10 . 18
7	顕微 ATR 赤外分析法による光改質樹脂板の改質分布調査	○小島洋治	産総研主催 分析事例討論会	R 5 . 10 . 26
8	床材の違いが重心動揺に及ぼす影響	○横山詔常	第 13 回日本新経絡医学会 (広島市南区)	R 5 . 1 1 . 5
9	ポリカーボネート樹脂の熱/水分劣化診断に向けた MALDI-TOFMS、熱分解 GC-MS の適用性検討	○小島洋治、菅坂義和、 宗綱洋人	第 28 回高分子分析討論会	R 5 . 11 . 10
10	リサイクルを想定した二軸押出機の再混練条件がポリプロピレンの機械的特性に及ぼす影響	○佐川洋行、西田裕紀	第 31 回プラスチック成形加工学会	R 5 . 11 . 29
11	自動車部品用素材の断熱性を評価する簡易装置	○長谷川浩治	科学技術振興機構 ものづくり技術～中国地域公設試～ 新技術説明会(オンライン)	R 5 . 11 . 30
12	射出成形シミュレーション用溶融樹脂粘度測定装置の開発	○田平公孝	科学技術振興機構 ものづくり技術～中国地域公設試～ 新技術説明会(オンライン)	R 5 . 11 . 30
13	金型と成形体の伝熱を測る技術	○寺山 朗	科学技術振興機構 ものづくり技術～中国地域公設試～ 新技術説明会(オンライン)	R 5 . 11 . 30

No.	テーマ名	氏 名 (○:発表者)	場 所 (学協会等)	発 表 日
14	実車による断熱性能評価方法の確立	○棗田洋平	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 計測分科 会 温度・熱研究会 (福井 県)	R 5 . 1 2 . 7
15	身体バランス向上を目指した靴下の提案	○尾花秀俊、横山詔常	日本人間工学会中国・四国 支部大会 (広島国際大学)	R 5 . 1 2 . 9
16	良いスクールバックとは何か? 振動評価試験の設計と結果	○片岡 勸、横山詔常 大川正巳、岩谷 稔	日本人間工学会中国・四国 支部大会 (広島国際大学)	R 5 . 1 2 . 9
17	プラズマ CVD 法を用いたポリ カーボネート板の耐摩耗性及び 耐光性向上に関する検討	○小島洋治	第 71 回応用物理学会春季 学術講演会	R 6 . 3 . 2 6

③ 講演等

No.	講 演 内 容		講 演 者	主 催 者	発表日
1	中国・四国地域公設試験 研究機関研究者合同研修 会	VR／AR 技術による施 設・技能のバーチャル化	佐々木憲吾	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 中 国 セ ン タ ー	R 5 . 1 0 . 1 8
2	令和 5 年度 第 2 回中国 地域産総研技術セミナー 「機械学習等を活用した 材料開発」	ソフトマテリアルのメソ スケール 3 D 構造解析と その数値化	田 邊 栄 司	国立研究開発法人 産業技術総合研究 所 中国 セ ン タ ー	R 6 . 1 . 1 5

(3) 工業所有権

① 権利が確定した工業所有権（令和6年4月1日現在）

整理番号	登録番号	発明の名称	出願人	発明者※	登録年月日
52	特許 4941910	鋏型手動利器及びそのグリップアタッチメント	広島県 (有)ウド・エルゴ研究所	横山詔常、岡野 仁 中村幸司、橋本晃司 古川 昇、越智資泰 今井俊治	H24. 3. 9
68	特許 5309288	加工誤差予測のためのコンピュータプログラム、加工誤差予測装置およびその予測結果に基づいて工具経路を修正する装置	広島県 埼玉大学	西川隆敏、菊田敬一 岡野 仁、山下弘之	H25. 7.12
69	特許 5610265 (US9121090B2)	樹脂成形体	広島県 ダイキョーニシカワ(株)	小島洋治、縄雅典生 山本 晃	H26. 9.12 (H27. 9. 1)
73	特許 5678432	樹脂粘度測定方法及び樹脂粘度測定装置	広島県	佐々木憲吾、田平公孝 大橋俊彦	H27. 1.16
83	特許 5804367	加工誤差予測方法、加工誤差予測装置、工具経路修正方法及び工具経路修正装置	広島県	西川隆敏、菊田敬一 筒本隆博	H27. 9.11
89	特許 5967834	樹脂成形用金型、該樹脂成形用金型の製造方法及び樹脂成形品の製造方法	広島県 (株)積層金型	松葉 朗、藤井敏男 池田慎哉、西田裕紀	H28. 7.15
93	特許 6149272	ダイヤモンド被膜体、ダイヤモンド被膜部品及びそれらの製造方法	広島県	本多正英、筒本隆博 大橋俊彦、山本 晃	H29. 6. 2
100	特許 6176617	加工誤差予測方法、プログラムおよび加工誤差予測装置	広島県	西川隆敏、菊田敬一 筒本隆博	H29. 7.21
102	特許 6300211 (6317052)	採材支援装置および制御プログラム	広島県	佐野 誠、古本浩章 小玉 龍、佐野俊和 山場淳史	H30. 3. 9 (H30. 4. 6)
104	特許 6284129	コンプライアンスデバイス	広島県	安部重毅、藤原義也 岡野 仁、倉本丈久 大賀 誠	H30. 2. 9
106	特許 6644298	歩行データ取得装置および歩行データ取得システム	広島県 県立広島大学	横山詔常、弓場憲生 小玉 龍、門藤至宏	R2. 1.10
107	特許 6732245	細胞培養装置	広島県 (株)ツーセル (株)スペースバイオラボラトリーズ	尾形康弘	R2. 7.10
108	特許 6742614	水産物養殖用トレー及びそれを積層した水産物養殖用トレー積層体	広島県 かなわ水産(株) 大下産業(株)	佐々木憲吾、友國慶子	R2. 7.31
109 130	特許 6795812 (7018616)	アルミ合金製ボルト	広島県 松本重工業(株)	森下勇樹、府山伸行	R2.11.17 (R4.2.3)

整理番号	登録番号	発明の名称	出 願 人	発 明 者※	登録年月日
110	特 許 6316997	びびり振動回避装置、びびり振動回避プログラム、およびびびり振動回避装置の制御方法	広島県	西川隆敏、菊田敬一	H30. 4. 6
111	特 許 6664746	歩行評価システムおよび歩行評価システムの作動方法	広島県 県立広島大学	横山詔常、橋本晃司 小玉 龍、弓場憲生	R2. 2.21
112	特 許 6452874	金属加工装置、ロボット、及び金属加工方法	広島県	安部重毅、岡野 仁 岩谷 稔	H30.12.21
113	特 許 7138868	測温センサピン及びそれを備える測温センサ	広島県 芝浦機械(株)	寺山 朗、府山伸行 大石 郁	R4. 9. 9
114	特 許 7106073	熱伝導率測定装置及び熱伝導率測定方法	広島県	筒本隆博、長谷川浩治 羽原雄太	R4. 7.15
115	特 許 7094509	情報処理装置、制御プログラム及び情報処理方法	広島県	姫宮一輝、西川隆敏	R4. 6.24
117	特 許 7231152	二枚貝開殻方法及び装置	広島県 三工電機(株)	友國慶子	R5. 2.20
119	特許 7297215	演算装置、演算処理プログラム、および演算方法	広島県	田平公孝、佐々木憲吾 後藤孝文	R5. 6.16
118	特 許 7403109	アルミニウム合金製ボルトおよびその製造方法	広島県 松本重工業(株)	森下勇樹、府山伸行	R5.12.14

※ 広島県関係者のみ記載

② 出願している工業所有権

・ 公開案件

整理番号	公開番号	発明の名称	出 願 人	発 明 者※	出願年月日
123	特 開 2021-115836	レーザ溶着装置及びレーザ溶着方法	広島県 広島大学 備ジェイ・エム・エス	門 格史、藤井 宏 大石 郁、小島洋治	R2. 1.29
124	特 開 2022-077157	金属加工装置及び金属加工方法	広島県	安部 重毅、岡野 仁 岩谷 稔	R2.11.11
128	特 開 2021-147672	廃棄鉄系金属粉末・廃棄プラスチック成形体及びその製造方法	広島県 NPO法人広島循環型社会推進機構	武田正良	R2. 3.19
129	特 開 2022-77157	金属加工装置及び金属加工方法	広島県	安部重毅、岡野 仁 岩谷 稔	R2.11.11
131	特 開 2022-151645	解析装置、制御プログラムおよび解析方法	広島県	寺山 朗、府山伸行	R4. 2.21
132	特 開 2022-151646	推定装置、シミュレーション装置、制御プログラム、データセットおよび推定方法	広島県	寺山 朗、筒本隆博	R4. 2.21

整理番号	公開番号	発明の名称	出願人	発明者※	出願年月日
133	特 開 2022-129414	牡蠣むき身装置	広島県 三工電機(株)	友國慶子、安部重毅 佐々木憲吾	R3. 2.25
120 134	特 開 2021-162579	熱貫流率測定装置及び方法	広島県	筒本隆博、長谷川浩治 末村紘志	R3. 3.11
135	特 開 2022-129416	牡蠣むき身装置	広島県 三工電機(株)	友國慶子、佐々木憲吾	R3. 2.25
136	特 開 2022-154619	管状体の結束具及び魚介類養 殖用の浮体	広島県 大下産業(株) 三井化学産資(株)	友國慶子、佐々木憲吾	R3. 3.30
137	特 開 2022-176492	レーザ接合方法及びレーザ接 合成形体	広島県 広島大学 (株)ジェイ・エム・ エス	門 格史	R3. 5.17
138	特 開 2022-176493	レーザ接合方法及びレーザ接 合成形体	広島県 広島大学 (株)ジェイ・エム・ エス	門 格史	R3. 5.17
140	特 開 2023-155681	予測システム、予測方法、予測 装置、学習装置、プログラム、 学習済みモデル	広島県 (株)カネカ 県立広島大学	横山詔常、小玉 龍 友國慶子	R4. 4.11
141	特 開 2022-055339	レーザ溶接方法およびレーザ 溶接装置	広島県 デルタ工業(株) 広島大学	門 格史	R3. 9.22
142	特 開 2023-064812	筏モジュール及びプレハブ式 ポリエチレン製浮体筏	広島県 大下産業(株) 三井化学産資(株)	横山詔常、佐々木憲吾 友國慶子	R3.10.27
144	特 開 2023-158801	魚介類プロファイリングシス テム、その方法、プログラム及 び学習済みモデル	広島県 大阪公立大学	友國慶子、横山詔常 後藤孝文	R4. 4.19

※ 広島県関係者のみ記載

・ 未公開案件

国内特許 3 件（内、令和 5 年度出願 3 件）

(4) 広報活動

① 技術情報提供等の実施状況

区 分		実施状況 (発行部数等)
発 行 図 書 類	事 業 概 要	H P に 掲 載
	研 究 報 告 (第 65 号)	
	業 務 年 報	
施 設 設 備 の 公 開	見学者数 (名)	1 9 1

② 新聞報道等の状況

No.	報 道 等 見 出 し	報道機関名	発行日
1	3COINS のロールスポンジ について	テ レ ビ 朝 日	R5. 4. 18
2	生分解性樹脂を使用した「かきパイプ」について	テレビ新広島	R5. 4. 20

6 人材育成事業

(1) 技術者研修

① めっき技術者研修（令和5年度第2回広島表面处理技術研究会）

- ・ 参加者：17名（8社）
- ・ 期間：令和5年7月1日
- ・ 場所：本所
- ・ 概要：湿式表面处理に関わる基礎技術の習得を目的として研修を行いました。

（研修カリキュラム）

区分	内 容	時間	講 師
座学	1) オリエンテーション 2) 試薬など実習での危険防止について 3) 化学分析及びハルセルについて	1	本多 正英 宗綱 洋人
実技	N i - C r めっき	2	本多 正英 宗綱 洋人 杉原 正洋 坂田 拓也
実技	Z n めっき	2	本多 正英 宗綱 洋人 杉原 正洋 坂田 拓也
実技	ハルセルテスト、メッキ液分析	2	本多 正英 宗綱 洋人 杉原 正洋 坂田 拓也

② 令和5年度EV対応推進事業（東広島市補助金）

- ・ 共 催：ひろしま自動車産学官連携推進会議 広島県地方大学・地域産業創生事業推進特別委員会
- ・ 概要：EV部品開発に関する人材育成を目的に、①EV部品性能評価セミナー、②熱物性測定研修、③EMCスキルアップ研修を行いました。

（研修カリキュラム）

区分	内 容	参加者	講 師
EV部品性能評価セミナー (R6.3.11) 会場：(株)広島テクノプラザ	(1)EV開発における熱マネジメントの現状と今後の課題 (2)EV用モーターの現状と技術動向 (3)パワーエレクトロニクスにおけるEMI	46	外部講師
EMCスキルアップ研修 (R6.3.14) 会場：生産技術アカデミー	EMC設計ルールを守っているのになぜノイズが落ちないのか？ ～ノイズ放射の直感的理解～	31	外部講師
熱物性測定研修 (R6.3.19) 会場：(株)広島テクノプラザ	(1)熱測定の基礎 (2)部品の断熱性能測定の紹介	10	外部講師 棗田洋平 筒本隆博

(2) 企業等研究員受入制度

業 種	企業数	人・日
ゴ ム 製 品 製 造 業	1	4
化 学 工 業	1	2
合 計	2	6

7 産学官交流事業

(1) 研究会活動

研究会	内 容	場 所	開催日	参加者
広島県 A I ・ I O T ・ ロボティクス活用研究会	第1回研究会 講演1 福岡県工業技術センターの2つのDX ツールによる生産性向上の取り組み 福岡県工業技術センター 渡邊 恭弘 氏、田口 智之 氏 生産現場のデジタル化やDX推進のために、専門知識が不要で、安価で誰でも簡単に導入できる2つのDXツールを企業と共同開発した事例を紹介します。 講演2 実際に、使ってみましたデジタル技術！中小企業の成功への実践的な活用ガイド 一般財団法人 インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ 企画統括 渡邊 嘉彦 氏 インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ (IVI) の取り組みを中心に、デジタル化の推進方法や必要な考え方について解説します。	会 場 ・ Web ハイ ブリッ ド 開 催	令和5年 12月13日	38名
	第2回研究会 講演1 ロボティクスと人工知能 宇都宮大学工学部基盤工学科機械システム工学コース 星野 智史 准教授 人工知能技術として、ニューラルネットワークや最新のディープラーニング（深層ニューラルネットワーク）の基礎について解説します。そして、当研究室で取り組んでいる事例として、移動ロボットやパーソナルモビリティロボット、そして上体ヒューマノイドロボットについてご紹介します。 講演2 ものづくりライフサイクルを支える三菱電機のロボティクスとDX 三菱電機株式会社 FAシステム事業本部/機器事業部/ロボット・センサ部 主管技師長 武原 純二 氏 急激な需要変動や人手不足など深刻化する社会課題への対応など、変化に迅速に対応できる柔軟なものづくりが求められています。持続可能なものづくりのライフサイクルを支援する三菱電機のロボティクス、DX の取組を、事例を交えながらご紹介します。	Web 開催	令和6年3 月21日	45名

(2) 他機関との連携・支援

① 公設試等連絡会議

(産業技術連携推進会議)

会 議 名	場 所	出席者	開催日
製造プロセス部会 本会議	オンライン開催	内山 陽介	R 5 . 1 1 . 1 6
製造プロセス部会 表面技術分科会 第 9 回 DLC 技術研究会	オンライン開催	内山 陽介	R 5 . 1 0 . 2 5 ～2.6
情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第 16 回音・振動研究会	長野県 ハイブリッド開催	岩谷 稔	R 5 . 1 0 . 5 ～6
産技連 第 61 回 高分子分科会	オンライン開催	田平 公孝 小島 洋治 西田 裕紀 佐川 洋行 丸本 翼	R 5 . 1 1 . 2 8
ナノテクノロジー・材料部会 素形材分科会	愛知県	藤本 直也	R 5 . 6 . 7 ～8
	オンライン	藤本 直也	R 5 . 1 1 . 1 4
製造プロセス分科会 IoT ものづくり分科会 2023	ハイブリッド開催	石田 大騎	R 5 . 1 1 . 9
知的基盤部会 計測分科会 温度・熱研究会	福井県 ハイブリッド開催	長谷川浩治 棗田 洋平 筒本 隆博	R 5 . 1 2 . 7 ～8
知的基盤部会 電磁環境分科会 EMC 研究会	岐阜市	宮野 忠文	R 5 . 1 1 . 9 ～10
知的基盤部会 第 55 回分析分科会	鳥取市 ハイブリッド開催	坂田 拓也	R 5 . 1 1 . 3 0 ～12.1
中国地域部会・四国地域部会 合同 環境・エネルギー技術分科会	オンライン開催	宗綱 洋人	R 6 . 1 . 1 9
中国地域部会 機械・金属技術分科会	オンライン開催	門 格史 前田 圭治 久保田将矢	R 6 . 1 . 2 5
デザイン分科会研究発表会	福島県	橋本 晃司 富田 佳央	R 5 . 6 . 1 5
デザイン分科会	静岡県	富田 佳央	R 5 . 1 1 . 3 0

(その他)

会 議 名	場 所	出席者	開催日
スマート検査・モニタリング共創コンソーシアム 全体 Web 会議	オンライン開催	長谷川浩治	R 5 . 6 . 2 0
		藤井 敏男 佐野 誠 宮野 忠文 岩谷 稔	R 6 . 1 . 2 2
令和 5 年度中国四国公設試験研究機関共同研究（精密加工分野）推進協議会	米子市	姫宮 一輝 久保田将矢	R 6 . 2 . 2 9 ～3.1
	オンライン開催	前田 圭治	R 6 . 2 . 2 9

② その他の業務による派遣

派遣先機関		内 容	場 所	回数	派遣者数 (人日)	派遣日
広島県	ひろしま感性イノベーション推進協議会	企画運営委員会	オンライン開催	4	4	R 5 . 4 . 1 8 R 5 . 1 0 . 1 0 R 6 . 2 . 6 R 6 . 3 . 6
		感性に係る地域連携会議	広島市 オンライン開催	2	4	R 5 . 6 . 7 R 6 . 2 . 2 8
(公財)ひろしま産業振興機構		ひろしま IoT 実践道場	広島市	5	5	R 5 . 7 . 2 6 R 5 . 7 . 2 7 R 5 . 1 0 . 5 R 5 . 1 2 . 1 9 R 6 . 1 . 3 0
(株)広島テクノプラザ		広島県 EMC 研究会	東広島市	6	16	R 5 . 6 . 6 R 5 . 7 . 1 1 R 5 . 9 . 1 2 R 5 . 1 0 . 1 3 R 5 . 1 2 . 5 R 6 . 2 . 2 2
		広島県音振動技術研究会	東広島市	5	5	R 5 . 7 . 3 1 R 5 . 1 0 . 3 0 R 5 . 1 2 . 2 1 R 6 . 1 . 2 4 R 6 . 3 . 7
(公財)中国地域創造研究センター		中国地域質感色感研究会	広島市	2	2	R 4 . 5 . 3 0 R 5 . 3 . 7

派遣先機関	内 容	場 所	回数	派遣者数 (人日)	派遣日
広島経済同友会 ひろしまデジタル イノベーションセンター	デジタルものづくり塾	オンライン開催 H D I C 開催	22	22	R 5 . 6 . 2 6 R 5 . 6 . 3 0 R 5 . 7 . 1 1 R 5 . 7 . 2 1 R 5 . 7 . 2 8 R 5 . 7 . 3 1 R 5 . 8 . 2 4 R 5 . 9 . 1 R 5 . 9 . 2 5 R 5 . 1 0 . 3 R 5 . 1 0 . 4 R 5 . 1 1 . 9 R 5 . 1 1 . 2 9 R 5 . 1 2 . 6 R 5 . 1 2 . 1 2 R 5 . 1 2 . 2 7 R 6 . 1 . 9 R 6 . 1 . 1 0 R 6 . 1 . 1 6 R 6 . 1 . 3 1 R 6 . 2 . 2 R 6 . 2 . 1 3
ひろしまデジタル イノベーションセンター	鋳造CAE研修（初級）	オンライン開催 H D I C 開催	4	8	R 6 . 2 . 5 R 6 . 2 . 6 R 6 . 2 . 2 6 R 6 . 3 . 2 6
NPO 法人広島循環型社会推 進 機 構	DXによる産業廃棄物の 適正管理及び資源化率 向上に関する研究 検 討会	W e b 出 席	3	3	R 5 . 8 . 3 1 R 5 . 1 0 . 3 0 R 6 . 2 . 1 4
九 州 大 学	講義「インダストリアル デザイン基礎Ⅱ」	九 州 大 学 伊都キャンパス	1	1	R 6 . 1 . 3 0
広島大学デジタルものづくり 教 育 研 究 セ ン タ ー	高度材料分析技術習得 コース「XRD、電子顕微 鏡観察」	東 広 島 市	1	1	R 5 . 8 . 3
一般社団法人広島県発明協会	理科教育支援事業	広島市立福木中 学 校 ・ 城 山 中 学 校	2	3	R 6 . 2 . 2 0 R 6 . 2 . 2 1

8 その他

(1) 職員研修

研修課程	場 所	研修者	期 間
化学物質管理者研修	中国四国安全衛生サービスセンター	小島 洋治	R 5 . 8 . 3 1
AI 外観検査セミナー	WEB セミナー	石田 大騎 坂本 一真	R 5 . 5 . 3 0
EMC 開発革新に向けた共創活動	ひろしまデジタルイノベーションセンター	井鷲 陽介 内山 洋介 石田 大騎	R 5 . 5 . 2 5 R 5 . 6 . 2 1 R 5 . 7 . 2 0 R 5 . 8 . 2 4 R 5 . 9 . 2 1 R 5 . 1 0 . 1 9 R 5 . 1 1 . 1 4 R 5 . 1 2 . 1 9 R 6 . 1 . 1 8 R 6 . 2 . 2 1 R 6 . 3 . 2 1
画像認識技術入門オンラインセミナー	WEB セミナー	杉原 正洋	R 5 . 6 . 1 2
「技術者・研究者のための実験計画法入門」 オンラインセミナー	WEB セミナー	杉原 正洋	R 5 . 1 0 . 6
射出成形不良 Q&A	WEB セミナー	丸本 翼	R 5 . 1 2 . 7
電子回路から発生するノイズ対策技術	高度ポリテクセンター	石田 大騎	R 5 . 1 1 . 3 0 ～12. 1
実習で学ぶ画像処理・認識技術（OpenCV 編）	高度ポリテクセンター	坂本 一真	R 5 . 1 1 . 1 6 ～ R 6 . 1 . 7
IoT システム開発技術（集中育成コース）	高度ポリテクセンター	間山 清和	R 5 . 7 . 3 0 ～ 8. 4
溶接入門講座	溶接会館	久保田将矢	R 5 . 6 . 6 ～ 7
化学物質管理者研修	中国四国安全衛生サービスセンター	門 格史 小島 洋治	R 5 . 8 . 3 1
保護具着用管理責任者教育講習	R C C 文化センター	門 格史 伊藤 幸一	R 5 . 7 . 1 8
LMP シンポジウム 2024 レーザ加工技術の基礎・応用と最新動向	オンライン開催	門 格史	R 6 . 3 . 7 ～ 8
産業用ロボット特別安全教育	ダイヘン六甲事業所	久保田将矢	R 6 . 1 . 2 3 ～ 24
ロボットティーチング研修	ダイヘン六甲事業所	門 格史	R 6 . 1 . 1 8
スマホアプリ開発研修	サテライト型オフィス H1T 大手町	久保田将矢 坂本 一真	R 5 . 1 1 . 1 4 ～ 15
広島市立大学情報科学部公開講座 AI 実装プログラミング入門	広島市立大学	杉原 正洋 岩谷 稔 石田 大騎 坂本 一真	R 5 . 9 . 2 6 ～ 27

研修課程	場 所	研修者	期 間
電子機器の電波干渉リスク対策	オンライン開催	内山 陽介	R 5 . 6 . 5 R 5 . 6 . 1 2 R 5 . 6 . 1 9 R 5 . 6 . 2 6
第 5 回トライボロジー応用講座【実験・計測編】	オンライン開催	藤本 直也	R 5 . 1 1 . 2 1
実験計画法の基礎と実務における活用法とそのポイント	オンライン開催	久保 雅之	R 6 . 2 . 2 0
ChatGPT を活用した特許調査技術と効果的なポイント	オンライン開催	寺山 朗	R 5 . 1 2 . 2 6
Python を用いたスパースモデリングの基礎と実践応用	オンライン開催	岩谷 稔	R 5 . 1 2 . 2 6
自動車工学基礎講座 2023 VE 見学会及びベンチマーク研修会	マツダ(株)VE センター	長谷川 浩治	R 5 . 1 2 . 1
人間生活工学入門	WEB セミナー	富田 佳央	R 5 . 5 . 2 4
小野測器主催「実務で使える知識が身につく！周波数解析の基礎」	WEB セミナー	姫宮 一輝	R 5 . 1 2 . 8
流体解析研修	HDIC	大川 正巳	R 5 . 5 . 3 1 ~ R 6 . 3 . 1 9
総合技術研究所における無人航空機（ドローン等）に係る研修	農業技術センター	横山 詔常 佐々木 憲吾	R 6 . 1 . 1 7 R 6 . 1 . 2 5
色材セミナー2024	WEB セミナー	坂田 拓也	R 6 . 3 . 1 9
広島大学学術指導「アスパラガス認識・判別技術の開発」	広島大学	坂本 一真	R 5 . 1 0 . 1 0 R 5 . 1 1 . 6 R 5 . 1 2 . 4 R 6 . 1 . 2 9 R 6 . 3 . 2 7

(2) 受賞等

賞 名	受 賞 者	主催団体	受賞日
中国四国支部賞技術貢献賞	門 格史	日本機械学会 中国四国支部	R 6 . 3 . 8
中国地域公設試験研究機関 功績者表彰研究業績賞	府 山 伸 行	公益財団法人 中国地 域創造研究センター	R 5 . 1 1 . 2 8

付 録

(1) 令和5年度の主な行事等

(日 付)	(主な行事等)	(場 所)
令和5年		
7月1日	技術者研修「めっき技術」	西部工業技術C
12月13日	広島県 AI・IoT・ロボティクス活用研究会 「第1回研究会」	ハイブリッド開催
11月1日	広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 保有技術紹介セミナー（オンデマンド配信）	オンライン開催
11月15日	広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 保有技術紹介セミナー（センター見学・体験会）	西部工業技術C 生産技術アカデミー
令和6年		
3月21日	広島県 AI・IoT・ロボティクス活用研究会 「第2回研究会」	オンライン開催

(2) 沿 革

(年 月)

(主 な で き ご と)

昭和24年 (1949)	4月	呉市公園通六丁目に広島県立呉工業試験場の設立決定
	11月	広島県立呉工業試験場を設立し、機械科、金属科の2科を設置
昭和25年 (1950)	9月	庶務係を新設、金属科を金属第1科、金属第2科に改組
昭和26年 (1951)	2月	鑄造実験室・溶解場を新築（昭和42年2月撤去）
昭和29年 (1954)	8月	鑄造科、工業化学科を新設
昭和34年 (1959)	8月	化学試験室を新築
昭和38年 (1963)	1月	鑄造実験室を新築
昭和39年 (1964)	4月	福山市沖野上町に福山支場を新設
	11月	化学試験室にプラスチック開放試験室を増設
昭和40年 (1965)	4月	広島県立窯業試験場を広島県立呉工業試験場竹原支場に改称
	5月	福山支場庁舎を山手町に新築移転
昭和42年 (1967)	4月	金属第1科を金属科に改称、金属第2科を廃止し、溶接科、金属化学科を新設
昭和43年 (1968)	3月	本場の本館鉄筋コンクリート造3階建及び鉄骨平屋実験棟を新築
	6月	竹原支場を廃止し、本場に窯業科を設置
昭和46年 (1971)	4月	機構改革により科制を廃止し、総務部、公害研究室、機械部、金属部、化学部、福山支場の4部、1室、1支場体制
昭和57年 (1982)	4月	公害研究室をエネルギー対策室に、機械部を機械電子部に改組
昭和59年 (1984)	3月	熱処理実験室内に炭素繊維応用加工技術開放試験室を新設
	4月	広島県立西部工業技術センターに改称し、企画管理部、エネルギー対策室、システム開発部、金属加工部、応用化学部及び福山支所の4部、1室、1支所体制
昭和60年 (1985)	3月	敷地内に(財)広島県産業技術振興機構のフロンティア技術センターを新設
	3月	炭素繊維応用加工技術開放試験室を増設
昭和62年 (1987)	4月	福山支所が広島県立東部工業技術センターに統合される
昭和63年 (1988)	4月	エネルギー対策室を資源開発部に改組
平成 3年 (1991)	10月	呉市阿賀南二丁目10-1で新庁舎の起工式を実施
平成 5年 (1993)	3月	新庁舎完成、移転完了
	4月	企画管理部、情報技術部、材料技術部、生産技術部、システム技術部、資源環境技術部の6部体制
平成11年 (1999)	4月	生産技術アカデミー設計部門を開所して、システム技術部を廃止し、生産技術部を応用加工技術部に、資源環境部を資源環境技術部に改組
平成13年 (2001)	4月	生産技術アカデミー新庁舎完成・開所
平成19年 (2007)	4月	広島県立総合技術研究所 西部工業技術センターとなる 東部及び西部工業技術センターの情報技術部と東部工業技術センターの産業デザイン部を生産技術アカデミーに集約（4研究部体制） 本 所：総務担当、技術支援部、材料技術研究部、加工技術研究部 生産技術アカデミー：総務担当、技術支援担当、製品設計研究部、生産システム研究部
平成21年 (2009)	4月	本所に炭素繊維プロジェクトチームを設置（～平成30年3月）
平成22年 (2010)	4月	生産技術アカデミーに金型加工プロジェクトチームを設置（～平成25年3月）
平成25年 (2013)	4月	生産技術アカデミーに産業用ロボットプロジェクトチームを設置（～平成28年3月）
令和 2年 (2020)	4月	生産技術アカデミーにDX（デジタルトランスフォーメーション）推進担当を設置

(3) 令和6年度の職員

(令和6年4月1日現在)

(本 所)

所属	職 名	氏 名
	セ ン タ ー 長	山 本 晃
	次 長	石 橋 政 詞
	次 長	縄 稚 典 生
総務担当	主 幹	西 原 久 人
	主 査 (シニアスタッフ)	横 手 克 尚
	主 任 (エルダースタッフ)	北 野 智 之
技術支援部	(兼) 部 長	縄 稚 典 生
	担当部長 (営業担当)	池 田 裕 朗
	主 任 研 究 員	河 野 洋 輔
	主 任 研 究 員	井 鷲 洋 介
	主事 (臨時的任用)	江 崎 万 紀 子
材料技術研究部	部 長	田 平 公 孝
	総 括 研 究 員	本 多 正 英
	副 部 長	松 永 尚 徳
	副 部 長	小 島 洋 治
	主 任 研 究 員	菅 坂 義 和
	主 任 研 究 員	宗 綱 洋 人
	主 任 研 究 員	西 田 裕 紀
	主 任 研 究 員	杉 原 正 洋
	研 究 員	坂 田 拓 也
	研 究 員	佐 川 洋 行
	研 究 員	丸 本 翼
	研 究 員	貞 井 俊 平
	試験研究従事員	下 原 伊 智 朗
加工技術研究部	部 長	府 山 伸 行
	担 当 部 長	長谷川 浩 治
	副 部 長	寺 山 朗
	主任研究員 (シニアスタッフ)	樋 口 浩 一
	主 任 研 究 員	岩 谷 稔
	主 任 研 究 員	棗 田 洋 平
	主 任 研 究 員	久 保 雅 之
	主 任 研 究 員	長 岡 孝
	研 究 員	藤 本 直 也
	研 究 員	尾 津 俊 介
	研 究 員	内 山 陽 介
	試験研究従事員	筒 本 隆 博

(生産技術アカデミー)

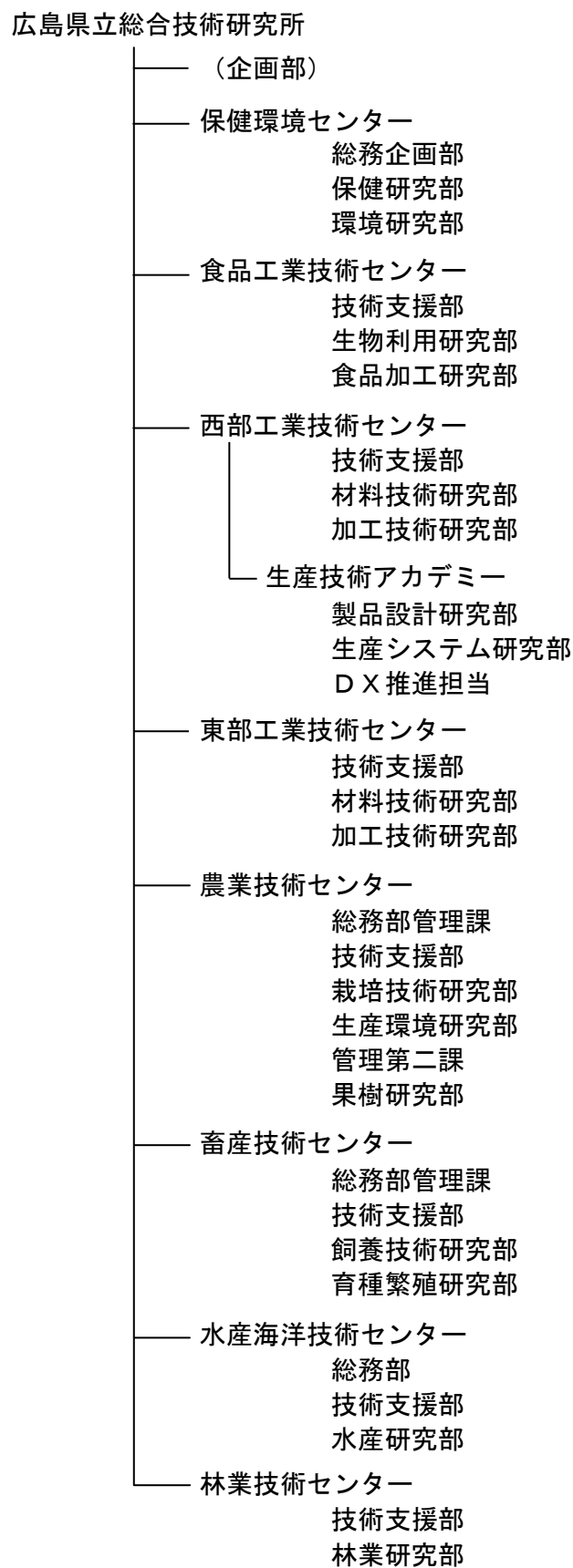
所属	職 名	氏 名
	支 所 長	藤 井 敏 男
	次 長	村 河 亮 利
総務担当	主 査	戸馬田 晴 之
	主 任 (エルダースタッフ)	永 末 浩 二
技術支援担当	担当部長 (営業担当)	宮 野 忠 文
	主 任 研 究 員	友 國 慶 子
製品設計研究部	部 長	横 山 詔 常
	担 当 部 長	安 部 重 毅
	副 部 長	大 川 正 巳
	主任研究員 (シニアスタッフ)	佐 野 誠
	主 任 研 究 員	田 邊 栄 司
	主 任 研 究 員	橋 本 晃 司
	研 究 員	兵 藤 一 志
	研 究 員	富 田 佳 央
生産システム研究部	部 長	門 格 史
	副 部 長	森 下 勇 樹
	主 任 研 究 員	間 山 清 和
	主 任 研 究 員	前 田 圭 治
	主 任 研 究 員	小 玉 龍
	研 究 員	石 田 大 騎
	研 究 員	久保田 将 矢
	研 究 員	坂 本 一 真
DX推進担当	担 当 部 長	佐々木 憲 吾
	主 任 研 究 員	伊 藤 幸 一

(企業派遣)

—	研 究 員	姫 宮 一 輝
---	-------	---------

人員 60 名 (内、企業派遣 1 名、シニアスタッフ 3 名、エルダースタッフ 2 名、臨時的任用職員 1 名、試験研究従事員 2 名)

(4) 広島県立総合技術研究所の組織



令和 6 年 8 月

編集・発行

広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター

〒737-0004 呉市阿賀南 2 丁目 10－1

E-mail wkcgiutsu@pref.hiroshima.lg.jp

TEL (0823) 74-1151

FAX (0823) 74-1131

広島県 西部工業

検索

